

考古学研究室

(2009年4月～2010年3月)

- 4月1日 安蒜政雄教授，専攻主任に着任。佐々木憲一准教授，教授に昇格。専任助手に平田健（博士後期課程），草野潤平（博士後期課程）が再任，T.A.に大塚宜明（博士後期課程），吉川侑（博士前期課程）が就任。大学院GPに関わる特任教授に小笠原好彦氏着任。大学院GP研究支援員として谷畑美帆氏再任，荒木志伸氏着任。研究知財事務室R.A.に及川穰（博士後期課程），日隈広志（博士後期課程）が再任。
- 4月8日 佐々木教授，在外研究に出発。研究課題は「国家形成期における日本列島と北アメリカの墳丘墓の比較研究」。米国ハーヴァード大学ライシャワー日本研究所客員研究員に就任。
- 4月11日～12日 阿部芳郎教授，人文科学研究所総合研究第1種を受けて栃木県芳賀郡茂木町大峰山遺跡の踏査を実施，縄文早期の良好な遺跡であることを確認。
- 4月17日 阿部教授，「縄文時代における漆工芸技術の学際的研究」（大学院研究科共同研究第1種）の第1回検討会を開催。
- 4月18日 考古学実習室・資料室と博物館考古部門の見学を中心とする新入生歓迎会を開催。
- 4月29日～5月6日 阿部教授，栃木県大峰山遺跡を発掘調査。大学院生と学部生が参加。
- 5月8日 安蒜政雄教授，大韓民国の湖南考古学会学術大会で「日本列島の旧石器時代とオブシディアン・ロード」を特別講演。
- 5月14日～17日 阿部教授，栃木県大峰山遺跡を発掘調査。大学院生が参加。
- 5月16日 教員と大学院生の合同勉強会「どんぐり会」第1回を考古学実習室で開催。博士前期課程の院生による卒業論文の成果，ならびに修士論文執筆に向けて発表。
- 5月28日 考古学研究室より学術雑誌『考古学集刊』第5号を刊行。
- 5月31日 阿部教授，日本考古学協会総会研究発表にて「縄文時代終末期から弥生時代初頭の集落と貝塚形成」と題し研究発表。
- 6月8日 考古学実習I（1年次春期）として群馬県岩宿遺跡・岩宿博物館を見学。安蒜教授，石川教授，阿部教授，高瀬准教授が指導，平田助手，草野助手，大塚T.A.，吉川T.A.および大学院生が指導補助。
- 6月24日～7月15日 大学院GPの一環として大韓民国慶北大学校考古学科朴天秀教授を招聘。
- 7月11日 考古学実習I（2年次）の事前学習を実施。安蒜教授，石川教授，阿部教授，高瀬准教授が指導。
- 7月14日 安蒜教授，石川教授，校地内遺跡調査委員会に出席。
- 7月25日 高瀬准教授，国立歴史民俗博物館基幹研究・研究会にて「石製収獲具の使用痕分析ー日本列島弥生時代と朝鮮半島青銅器時代の比較ー」を発表。
- 7月27日～8月7日 石川教授，考古学実習II（3年次）として宮城県山王（囲）遺跡資料の整理を実施。実習生3名および一般参加の2年生1名，1年生3名，大学院生1名が参加。
- 7月30日～8月1日 阿部教授，大学院研究科共同研究のため岩手県盛岡市，県立博物館にて資料調査。西川春菜，若山美喜（博士前期課程）が参加。
- 7月31日～8月1日 安蒜教授，考古学実習I（2年次）として長野県鷹山遺跡群を中心とする霧ヶ峰黒耀石原産地遺跡を踏査。大塚T.A.が指導補助にあたり，2年生2名，大学院生7名が参加。

- 7月31日～8月1日 高瀬准教授，考古学実習Ⅰ（2年次）として藤田記念庭園内考古館，弘前大学附属亀ヶ岡文化センター，田舎館村埋蔵文化財センター弥生館にて出土資料を実見，垂柳・高樋(3)遺跡を踏査し水田遺構の立地を確認。平田助手が指導補助にあたり，2年生13名が参加。
- 8月3日～7日 安蒜教授，考古学実習Ⅱ（3年次）として新潟県荒屋遺跡出土石器群の整理作業を実施。実習生1名および一般参加の1年生1名，大学院生4名が参加。
- 8月6日～7日 阿部教授，大学院研究科共同研究のため福井県鳥浜貝塚にて資料調査。
- 8月6日 石川教授，オープンキャンパスにて模擬授業「大学で学ぶ考古学」を講義。
- 8月7日 安蒜教授，オープンキャンパスにて模擬授業「大学で学ぶ考古学」を講義。
- 8月8日～9日 石川教授，考古学実習Ⅰ（2年次）として長野県大室古墳群を中心として，長野盆地に点在する古墳群を踏査，長野県立博物館等にて出土資料を観察。草野助手が指導補助にあたり，2年生15名が参加。
- 8月10日～28日 高瀬准教授，ロシア連邦カムチャツカ地方アナウガイ2遺跡を発掘調査。
- 8月24日～28日 阿部教授，考古学実習Ⅱ（3年次）として千葉県八木原貝塚出土土器を検討し，出土層位と土器型式の関係を分析。層位形成に新潟県荒屋遺跡出土石器群の整理作業を実施。実習生1名および一般参加の1年生6名，2年生1名，大学院生3名が参加。
- 8月31日～9月4日 高瀬准教授，考古学実習Ⅱ（3年次），レプリカ法による先史時代植物利用の研究として，レプリカ標本の作製，観察を実施。実習生1名，一般参加の1年生3名，2年生1名および3年生3名が参加。
- 9月1日 阿部教授，明治大学日本先史文化研究所（特定課題ユニット）を設立。
- 9月4日～14日 石川教授，文部省科学研究費の交付を受けて茨城県北原遺跡を発掘調査。
- 9月6日～14日 高瀬准教授，青森県むつ市江豚沢遺跡を発掘調査。
- 9月8日～9日 阿部教授，考古学実習Ⅰ（2年次）として青森県三内丸山遺跡を踏査し，青森県立郷土館にて関係資料を実査。吉川 T.A.が指導補助にあたり，2年生12名が参加。
- 9月10日～11日 阿部教授，長野県尖石縄文考古館にて判ノ木山西遺跡出土資料調査を実施。
- 9月18日 佐々木教授，ハーヴァード大学 East Asian Archaeology Seminarにて Archaeological Investigations at the Omuro Cairn Cluster in the Central Highlands of Japan—With Reference to Korean Immigrants in Fifth and Sixth Centuries A.D. と題し講演。
- 9月22日 佐々木教授，ミシガン州立大学 Michigan State University のジャパン・ウィークの一環で，Excavations at the Yukinoyama Keyhole-Shaped Burial Mound: Approach to Early State Formation in Fourth Century Japan と題し講演。
- 9月24日 佐々木教授，ミシガン大学 The University of Michigan の人類学博物館で Excavations at the Yukinoyama Keyhole-Shaped Burial Mound: Approach to Early State Formation in Fourth Century Japan と題し講演。
- 9月24日～27日 石川教授，大韓民国全北大学校と明治大学情報コミュニケーション学部協定締結に伴う国際シンポジウムで「日本列島における稲作の開始」と題し研究発表。
- 10月21日 安蒜教授，大韓民国スヤング国際シンポジウム実行委員会よりスヤング学術賞を受賞。
- 10月23日 安蒜教授，石川教授，校地内遺跡調査委員会に出席。
- 10月30日～31日 阿部教授，大阪歴史博物館収蔵の茨城県福田貝塚・椎塚貝塚を資料調査。
- 11月6日 佐々木教授，ボストン大学の International Center for East Asian Archaeology and

Culture History にて The Archaeology of Keyhole Tombs: Political Structure in Early Kofun Period Japan (ca. AD 250-400) と題し講演。

- 11月8日 考古学実習Ⅰ（1年次秋期）として埼玉県埼玉古墳群を踏査，埼玉県立さきたま史跡の博物館を見学。石川教授，阿部教授が指導，平田助手，草野助手，大塚 T.A.，吉川 T.A. および大学院生が指導補助として参加。
- 11月10日 高瀬准教授，札幌旭丘高等学校出張授業にて「考古学からみた先史時代の植物利用」を講義。
- 11月11日～18日 佐々木教授，アリゾナ州，ニュー・メキシコ州のホーホーカム，プエブロ文化の大遺跡の見学のため，出張。
- 11月14日 考古学実習成果報告会をリバティタワー1096 教室で開催。
- 11月21日 明治大学校地内遺跡調査報告会をリバティタワー1012 教室で開催。大塚初重名誉教授が「わが考古学人生と戦争」と題して記念講演。
- 11月21日～22日 阿部教授，長野県北相木村栃原岩陰遺跡出土資料を調査。
- 11月25日 阿部教授，明治大学日本先史文化研究所より『東京湾巨大貝塚の時代と社会』を刊行。
- 11月27日 高瀬准教授，明治大学リバティアカデミー『考古学ゼミナール 古代農耕の新視点』にて「東日本弥生農耕の新展開」を講演。
- 12月2日～5日 石川教授，吉村武彦大学院長とともに中国社会科学院および北京大学を訪問。社科院考古研究所で「日本列島における弥生時代の始まり」と題して学術報告。
- 12月6日 安蒜教授，岩宿大学にて「岩宿発掘 60 年の研究と今後の展望」を講演。
- 12月6日～10日 高瀬准教授，大学院 GP「複眼的日本古代学研究の人材育成プログラム」の一環としてアメリカ合衆国出張。
- 12月7日 「どんぐり会」第2回開催。『考古学集刊』第6号（2010年5月刊行予定）に執筆エントリーした教員，大学院生の研究発表と討議。
- 12月7日 アメリカ合衆国ロサンジェルス南カリフォルニア大学 University of Southern California 史学科において佐々木教授は Political Structures of the Early Kofun Period—Archaeological Perspectives from the Keyhole Tombs，高瀬准教授は Prehistoric and Protohistoric Plant Use in the Japanese archipelago，と各々題して講演。
- 12月15日～21日 大学院 GP 慶北大学校プログラムとして大韓民国を訪問。石川教授，小笠原特任教授，谷畑支援員の引率で草野助手，大塚拓（博士後期課程）が参加。16日開催の公開両校交流講演会にて石川教授が「日韓考古学関係・交渉の歩み」を講演。
- 12月19日 阿部教授，大学院研究科共同研究の検討会を実施。
- 12月22日 考古学実習室，年末大掃除および忘年会。
- 1月13日 佐々木教授，カリフォルニア大学ロサンジェルス校 UCLA のコッツェン Cotsen 考古学研究所にて The Archaeology of Keyhole Tombs: Approach to Early State Formation in Japan と題し講演。
- 1月15日 佐々木教授，南カリフォルニア大学史学科で Excavations at the Yukinoyama Keyhole-Shaped Burial Mound: Approach to Early State Formation in Fourth Century Japan と題し講演。
- 1月16日 阿部教授，漆サミット 2010 にて「考古資料としての漆研究」を発表。

- 1月24日 考古学専攻創立60周年記念同窓会をアカデミーコモン2階ビクトリーフロア暁の鐘で開催。卒業生360名・来賓14名が参加。
- 1月30日 及川 R.A.の博士論文公開報告会を開催。
- 2月12日 卒業論文発表会をアカデミーコモン309D教室で開催。
- 3月1日 佐々木教授, 一時帰国。
- 3月■日～■日 佐々木教授, 茨城県水戸市教育委員会と共同で, 同市所在の西原■号墳の墳丘測量調査を実施。大学院生■名, 学部生■名が参加。
- 3月7日 安蒜教授, 神奈川県考古学会考古学講座「神奈川の旧石器時代のムラと住まいを探る」で「旧石器時代のムラと住まい」を基調講演。
- 3月31日 平田助手, 草野助手, 大塚 T.A., 吉川 T.A., 日隈 R.A., 及川 R.A.が任期満了に伴い退任。